支援事例 4

社会と地域に貢献し、新しいシステムを指向する技術集団

株式会社 オートシステム

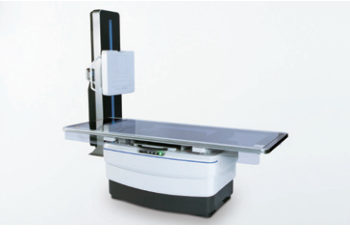
〒819-0041　福岡県福岡市西区拾六町2-2-28
TEL 092-881-4533　HP http://www.auto-system.co.jp/

業　　種	電気機械器具製造業
従業員数	215名
資 本 金	5,000万円

事業内容

ワイヤーハーネスや医療機器などの総合メーカー

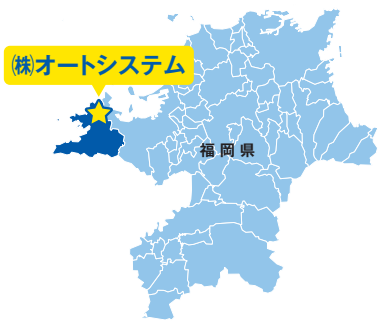
1984年に創業した、ワイヤーハーネス、医療機器、自動機器・検査機器などの総合メーカー。福岡市と糸島市志摩に工場があり、志摩工場では主に医療機器の設計と製造を行っている。2008年にはオートシステムベトナム株式会社を設立して量産体制を整えている。更に生産品目拡大と能力の増強を目指して、2021年糸島市に4階建ての工場を新設。経済産業省の「地域未来牽引企業」にも選定された。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 8回（支援期間：6カ月）

- 3Sと稼働改善で納期大幅短縮、総作業時間を低減
- リーダー育成と改善活動を通じ、改善職場を醸成



Q どんな困りごと（課題）がありましたか？

当社の志摩工場では医療機器やFA機器の設計開発・製造・販売を行っており、今回は製造、特に加工部門で仕事が属人化していることが課題でした。つまり現場管理者であるリーダーが経験と感覚をもとに全ての指示を出し、頭の中で管理しているイメージです。従ってスタッフは指示通りに業務をこなすことに追われ、加工計画全体像に対する実績の把握はもちろん、生産性向上に対する意識が希薄でした。なお、リーダーも加工実務を兼務しており、自分の仕事に追われて、管理方法の改善に手が付けられていない状態のため、やり方を変える必要があると感じていました。

また、これまでは販売計画をもとに材料調達と生産計画を立てていましたが、材料の注文から入荷までに時間がかかるため、実際の作業の開始から納期まで余裕がなく、残業したり外注したりすることもありました。

そのほか、作業現場には物があふれ、作業効率を落としていることも気になっていました。

課題 1 2

機械周りが雑然としていた

3Sで作業性、安全性向上

Q 改善の取組み内容を教えてください

まずは作業しやすい環境にするために、作業現場で使うものと使わないものを整理、作業動線に沿った物の配置で動線を短くする整頓、異常を見つけやすくするための清掃、これらの実践を通じ3Sの意識づけをしました。

次に、これまでリーダーが一人で担っていた加工依頼書から図面と納期の確認、加工計画を立てるという仕事をスタッフも把握・分担できるように、加工の計画と状況の見える化を進めました。また、機械ごとの稼動状況や各作業の工程・手順などを書き出して工数を計測し、課題を見つけて改善を進めました。また、リーダーの役割は、全体を見渡しアクションを取り生産性を上げることだと明確にし、効率化の手段を考えてトライすることを積み重ねてもらいました。

さらに、毎月の販売計画確定後だった材料調達を一部見直し、量産品は年間計画表をもとに早めに材料を手配、入荷しておくことで、待たずに加工を開始できるようになりました。

さらに工場全体の機械やものの配置を見直した

リーダーはタブレットを使って生産状況をリアルタイムに把握できるようになった

Q 取組んで良くなった点を教えてください

メインの効果（改善点）

3Sが浸透したことで工場内が整理・整頓されて、作業しやすくなりました。各作業の工数表を作成して時間を計り、課題を見つけ、工程や工具、加工法を見直し、正味工数と段取り工数を削減しました。また、目標工数を決めて作業手順書を改善しました。機械についても、計画と実績をリアルタイムで把握して、さらなる改善につなげています。

これらの取組みによって製作リードタイムを2週間短縮、月あたり総作業時間を50時間以上削減しました。残業時間も大幅に減り、主要部品を内製化できました。リーダーが指示をしなくても、一人ひとりが自ら判断して動けるようになったことも大きな成果です。

副次効果

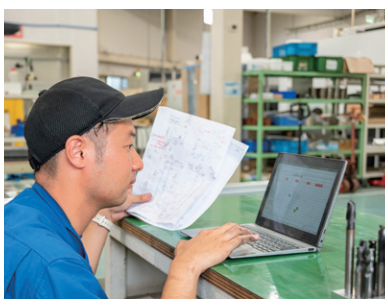
現場の全員に改善の必要性を訴えて、全員参加の改善活動に取組んだことで、手ごたえをつかみ、自発的に日々改善しようという意識が芽生え、社内に活気がでてきました。

アドバイザーが現場に顔を出すと、あちこちから「ここを改善したので見てほしい!」と声が掛かるほどに。

今後の目標

今後はDXと合わせて、生産性を高めることはもちろん、製造計画の見える化を図っていき、他のチームや事業部へと改善活動を広げていきたいです。

ベトナム人実習生も改善活動に積極的に参加して日々力をつけています。ベトナム工場に帰ったら改善リーダーとなって活躍することを期待しています。


手順書や計画書をもとに自ら考えて作業を進める

改善の取組みなどを共有する掲示板

企業様の声

プロの指導によって、どうすれば製造現場の生産性を向上できるのかがよく理解できました。当社では現場が一丸となって取組み、現状を整理することで問題が見えるようになり、改善すれば自らが働きやすい職場になり、社員と会社の成長につながる、と実感してくれたようです。楽しく改善に取組む姿勢は頼もしく、自発的な改善文化を醸成できたことが一番の成果であると確信しています。

株式会社 オートシステム
代表取締役社長
徳安 健司 様

生産性アドバイザーから一言

オートシステム様の活動がうまくいった要因の一つは、現場はもちろん調達や生産計画など事務部門も一緒に取組み、お互いの業務内容や状況をしっかり把握して、生産計画を含めて全体の見直しができたことにあると思います。さらに活動を続けられるとのことで期待しています。

生産性アドバイザー
田形 昌宏